

475.21
2.2.2010
0933

(四) 海相ハ依然判然トセス發言ハ大体消極的ノコト多シ

(イ) 海軍全般ニ物資取得ノ宣傳ヲヤル節アリ

(ニ) 外相ハ率直簡明ニシテ相當自信モアリ大体論議モ一貫シアル

モノト見ラル

十月二十八日(火)第六十三回連絡會議
再檢討ニ關スル件

午後二時開始午後六時終了

「第九問題(イ)「三月戰爭發起ノ場合對外關係ノ利害如何」

外務參本ノ案ヲ勘考シ對外關係ノミカラハ戰爭開始時機、國際關

係ヲ大キクニラミ現在ヨリモヨイ場合力來ルカモ知レヌト判決セ

リ

外務 「ソ」ノ北ヨリスル脅威ハ今ヨリモ輕クナル

參本 必スシモ然ラス冬期間ニ彼ハ整頓シ米ト結合シテ明春對

日積極行動トルコトアルヘキハ第三問題ニテ研究ノ通り

ナリ

外務 情勢ニヨツテハ獨「ソ」和平ヲ斡旋スルモ可

参本 可ナリ

外務 務 明年三月迄ハ米参戦セサルモ其参戦準備ハ整フ然シ道ニ

軍事的ニハ太平洋ニ之ヲ用フルコトトナルヘク又國內ニ

モ稍々困難ナル問題起リ結局之ハ大シタコトナカルヘシ

参本 之ニ反シ害ハ益ニ大トナルヘシ即對日包圍陣ハ強クナリ

又「ソ」ニ對スル日本ノ關係ハ不安極大トナル、油其他

ノ物資ハ減シ對手ノ軍事的整備ハ強化ス

(伊太利ノ参戦セル時ニ獨ハ喜ハサリシ由ナリ先方カラ

ヤツテクレト曾ハサルニ明年三月迄開戦ヲノハシタカ

ラトテ冷却スルト迄ハナラヌタラウトテ本件ハ省クコ

トトセリ)

ニ第九問題(四)「三月開戦ノ場合物ノ需給見込如何」

昨日研究ノ通り

三第九問題(六)「三月開戦ノ場合作戦上ノ利害如何」

開戦ハ十一月ナルヲ要ス即本十月三十一日迄ニハ開戦

ヲ決意スルヲ要ス

海軍ハ物ノ關係上致命的ナリトテ參本、軍令部強調ス
右ノ如クシテ參本軍令部案ヲ殆ント無修正可快

四等九間圖(一)「人造石油ヲ油ハ解決シ得サルヤ」

鈴木 始論トシテ言ヘハ

四百萬計生産ノ計畫ニヨレハ設備ノ爲「鐵一〇〇萬屯、
石炭二五〇〇萬屯、費用二一億、三年間ニテ工場設備ヲ
終ル、此ノ如キヲ以テ國家トシテハ強力權力非常手段ヲ
トラサルヘカラス

生産ハ「十六年三四萬計、一七年五五萬計、一八年一六

一萬計、一九年四〇〇萬計」トナル計畫ナルモ實行ニハ

大ナル難點アリ

海軍整備局長

右人石ヲヤラレルト海軍ハ戰備軍備ハ半分オクレル

國際關係ヲ無視シテコンナコトヲヤラレテハ困ル、實行

上困ル、又油ハ人石ノミヲ以テ解決セサルモノアリ

賀屋 戰爭ヤツタ場合、トヤラス場合ノ物資供給關係ハ何レカ

ヨイノカ、數量的ニ知リ度イ

五第十一問「重慶ニ與フル影響如何」

参本、陸軍省、外務ノ案ヲ勘考シ判決セリ

賀屋 南方ニ出テ所要ノモノハ軍ニ取ツテ貰フカ物的ニ陸海軍ノ戦力ヲ補給シ得ルカ否カカ問題タ概念論テナク大体此邊トノ判定ヲシ度イ

六本日ハ總理ヨリ兩總長ニ對シ再審議ノ進度遅クシ相済マストノ断
リアリ

十月二十九日(水) 自午後一時 第六十四回連絡會議
至午後十時

十月三十日(木) 自午前九時 第六十五回連絡會議
至正午

第五問題ハ第九問題「物ノ見達シ」並第十問題「外交ノ見達シ」ニ付研究ス

○第五、第九問題

一、鈴木總裁說明

(1) 液体燃料ニ付人石ニヨルノハ如何、

早急ニハツクレス又之ニテ燃料ニ關スル國防ノ安全ハ期待